災害時の臨床検査技師派遣に関する協定書実施細目

令和7年3月17日付けて締結した災害時の臨床検査技師派遣に関する協定書（以下「協定書」という。）第10条の規定に基づく細則は、次のとおりとする。

（要請）

第1条 協定書第4条第1項に規定する甲の乙に対する臨床検査技師の派遣要請は、文書により行うものとする。ただし、緊急を要するときは電話等迅速な方法で行い、文書の提出はその後において行うことができるものとする。

（従事命令）

第2条 甲は、協定書第4条の規定に基づき臨床検査技師の派遣を要請したときは、当該技師に対して、災害救助法（昭和22年法律第118号）第7条第1項の規定により、従事命令を発するものとする。

（医療救護活動の報告）

第3条 乙が、協定書第4条の規定に基づき臨床検査技師を派遣したときは、医療救護活動終了後速やかに、次に掲げる書類を取りまとめ、甲に報告するものとする。

- (1) 医療救護活動状況報告書（様式第1号）
- (2) 臨床検査技師名簿（様式第2号）
- (3) 検査試薬等使用報告書（様式第3号）

（事故報告）

第4条 乙は、協定書第5条に基づく業務において、臨床検査技師が負傷し、疾病もしくは障害の状態となり、または死亡したときは、事故報告書（様式第4号）により、速やかに甲に報告するものとする。

（費用弁償の請求）

第5条 協定書第9条第1項第1号および第2号ならびに第4号に定める経費は、乙が一括して費用弁償等請求書（様式第5号）により、甲に請求するものとする。

（扶助金の請求）

第6条 協定書第9条第1項第3号に定める扶助金は、支給を受けようとする者が扶助金支給申請書（様式第6号）により、甲に請求するものとする。

（費用弁償等の額）

第7条 協定書第9条第1項第1号に規定する費用弁償の額は、災害救助法施行細則（昭和35年福井県規則第67号）に定めるところによる。

- 2 協定書第9条第1項第2号に規定する費用弁償の額は、使用した検査試薬料等に係る実費とする。
- 3 協定書第9条第1項第3号に規定する扶助金については、災害救助法施行令（昭和22年政令第225号）および災害救助法施行細則に定めるところによる。
- 4 協定書第9条第1項第4号に規定する費用弁償の額は、3時間を超えて医療救護活動を実施した場合、1日につき13,000円とする。

（支払）

第8条 甲は、第5条または第6条の規定により請求を受けた場合は、その内容を審査し適当と認めるときは、速やかに支払うものとする。

（その他）

第9条 その他協定書の実施のために必要な事項については、災害救助法および関係法令の定めるところによるものとする。

本実施細則2通を作成し、甲、乙双方記名押印の上、各1通を保有する。

令和7年3月17日

甲 福井県福井市大手3丁目17番1号
福井県
知事 杉本 達治

乙 福井県福井市問屋町1-10
一般社団法人 福井県臨床検査技師会
会長 飛田 征男